

公 表 日

令和 3年 4月20日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和3年度水害リスクライン改良業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 筑後川河川事務所長 松木 洋忠 久留米市高野1丁目2番1号
契約年月日	令和 3年 4月20日
契約業者名	(株) 東京建設コンサルタント
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区博多駅南2-12-3
契約金額	23,958,000円(税込み)
予定価格	23,958,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	筑後川河川事務所管内
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 3年 4月21日
履行期間(至)	令和 4年 3月15日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和3年度水害リスクライン改良業務
2. 履行場所 筑後川河川事務所管内
3. 契約の相手方 住 所：福岡市博多区博多駅南2-12-3
会社名：(株)東京建設コンサルタント 九州支社
電 話：092-432-8000
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、既存の水害リスクラインの改良を行うものである。

2) 業務の内容

- ①水位予測プログラムの改良
- ②河川水位予測シミュレーション
- ③水位予測精度の検証
- ④水位予測精度の向上
- ⑤表示システムへの時系列表示機能拡張プログラムのインストール

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち1者を技術提案書の提出者として選定し、1者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に評価テーマの「水害リスクラインの改良をする上での留意点」に対する技術提案について、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

筑後川河川事務所 防災情報課長